

11番 原田 靖 議員

1 定年制について

- (1) 定年の引上げの概要とスケジュールについて示されたい。
- (2) 60歳を超える職員の給与について示されたい。
- (3) 役職定年制についてどのように考えるか、示されたい。
- (4) 高齢職員と若手職員が働き続けられる職場づくりをどのように確保していくか。
- (5) 将来にわたって公共サービス提供体制を保つため、計画的に新規採用職員を確保していくことが必要不可欠と思うがどうか。

2 職員の勤務体制について

- (1) 行財政改革の進展により、業務量の削減がほぼない中、人員の削減が進み、公共的サービス業務を会計年度任用職員に強く依存している現状があり、そのことが職場のモチベーションに影響していると思うがどうか。
- (2) 会計年度任用職員の導入の目的は処遇改善であった。どのように改善されてきたか。
- (3) マイナンバー制度やワクチン接種、給付金事務など、全庁的な取組が必要となる業務が増えているが、十分な体制が確保されているか。

11番 原田 靖 議員

3 教育行政について

- (1) 9月議会において、「鹿屋市市民交流センターの令和5年度に向けた見直しについて」、「芸術文化学習プラザは、中央公民館を統合し機能を充実する」と、説明がなされた。教育委員会としての考え方を示されたい。
- (2) 中央公民館は生涯学習の拠点として重要な役割を持つ。超高齢社会を迎える今日、地区学習センターと連携し地域のまちづくりの拠点としての機能を持たせ人員スタッフをはじめ、さらなる充実を図る考えはないか。
- (3) 芸術文化学習プラザの機能充実と合わせ、文化ゾーン(図書館、文化会館)全体の在り方についても考えるべき時期にあると思うがどうか。